



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



令和6年(2024年)
9月5日
木曜日
第275号(最終号)



「Eジャーナルしずおか」を ご愛読いただき ありがとうございました!

静岡県教育委員会では、旧「教育広報」から今日の「Eジャーナルしずおか」に至るまで、広報紙によりさまざまな情報を発信してきましたが、電子化に伴い、紙媒体の発行は今回が最終となります。

今後は、新たなウェブサイト「Eジャーナルしずおか+」により、これまで以上に教職員の皆様を後押しできるような情報を発信していきますので、ぜひご利用ください。これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。



昭和
24年~

旧「教育広報」

静岡県教育委員会広報紙の歴史を振り返ります!



教育速報



教育委員会だより

昭和
35年~

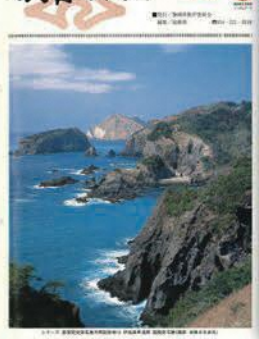
「教育速報」

教育資料的な性格が強い旧「教育広報」を補完し、その時々の教育界の出来事や教育委員会の事業を紹介する役割を果たしました。

昭和
51年~

「教育委員会だより」

教育広報



昭和
58年~

「教育広報」

2誌を統合
しました!

令和
3年~

「Eジャーナルしずおか(フルカラー)」



平成
20年~

「Eジャーナルしずおか」



教育現場で頑張る教職員を
後押しするとともに、優れた
取組の共有による教育活動
の活性化、本県教育に対す
る理解の促進などをねらい
としてリニューアルを行い
ました。

令和
6年~

「Eジャーナルしずおか+」
(WEBサイト)

WEBサイトへの移行に伴い、カテゴリ別の閲覧や検索などの機能を実装し、利便性が向上しました。
また、広報紙の紙面や発行時期に縛られず、情報の発信が可能になりました。

トップページ

今後もさまざまな情
報を発信していきま
すので、ぜひご利用
ください!



アンケート

皆さんの声をお聞か
せください!
メルマガ配信希望も
こちらから!



【教育政策課】

実践NOTE⁵⁴⁸

ちょっとだけイマージョン

静岡県立浜松商業高等学校 教諭 久保田 愛

はじめに

日本語の話者が英語を習得するには2,000時間以上が必要と言われています。しかし、公立学校に通う子どもたちの多くにとって、英語に触れる機会は週に数回の授業のみ、ということが珍しくありません。「実際に英語を使ってみる場面」を学校生活の中で少しでも増やせたらいいなと考えています。



筆者・英語の授業風景

言いたいのに言えない

家庭基礎や体育の授業にALTと参加させていただきました。調理実習では「卵を割る」「さっくり混ぜる」など、英語で伝えたいのに思うように言葉が出てきません。「どうしよう?」と不安げな生徒もいれば、「エッグ、パッカ!」「オープンエッグ!!」など必死に何かを言う生徒もいました。卓球の試合に参加させていただいた場面では、ルールをよくわかっていないALTの誤審が続くも、「間違っています」と言うことができず困っている様子でした。これは、「英語で何と言えればいいのかわからない」以前に、ALTの先生に対して「違うと思う」と意見することに、ためらいがあったためでした。



「こっちの点数なんだけど、…」

言えた!伝わった!

ジェスチャーを交えながら「オープンエッグ」と言った先述の生徒に対して、ALTの先生は“Oh, you mean, BREAK AN EGG”と返してくれました。それを聞いて「あー、それぞれ!プレイクエッグ!!」と、興奮気味に返していた生徒の姿はとても印象的でした。「言いたいのに言えない」という経験が、「言えた、伝わった」という喜びにつながっていくことを実感しました。



調理実習中

協力できる学校だからこそ

学校生活の中で英語の使用場を増やすこれらの工夫は、先生方のご協力があるからこそ可能になりました。以前は、授業改善は自分ひとりの力でやらねばならぬことだと思っていました。しかし、今は、学校全体の環境こそが重要だと感じています。



部活や防災訓練などでも英語を使用しています

「子どもたちのためになるなら」「それも面白いかもしれない」と、みんなでチャレンジできる本校の環境に感謝し、今後も小さな挑戦を続けていきたいと思っています。

実践NOTE⁵⁴⁹

ひとがずっと ちきゅうがずっと ~エコ活プロジェクト~

静岡県立浜松視覚特別支援学校 教諭 池野 夏美

はじめに

SDGsについて初めて学習をしたとき、「僕たちにできることはない。」と話していた6年生の2人が、エコ活プロジェクトを通して「僕たちが変われば、周りの人が変わっていき、世界が続く。」と語るようになりました。2人が中心となって活動した令和5年度の1年間の取り組みについて紹介します。



エコ活メンバーと。(筆者:後列右から2人目)

「僕たちがやらなければならないんだ」

総合的な学習の時間「エコ活」の学習をする中で、学校近隣の企業が、古着を回収して難民支援をする「服のチカラプロジェクト」を行っていることを知りました。社員さんからの勧めと指導を受け、プロジェクトへの参加を決めました。

そこで、難民の置かれている現状についてデータを基に学習を行い、難民の少女の手記も読みました。すると2人は、少女の辛さや悲しみに心を動かされ、「なんとかしたい。」とこのプロジェクトに本気で取り組み始めました。

「この活動を広めるためならば」

多くの人にこの取り組みに協力してほしいと願った2人は、「スペシャルメッセージ」を考えて、全校集会でプレゼンをしました。高等部の生徒から「私の小さい頃の服を持ってくるよ。」と言われ、自分たちの本気の思いが伝わったこと



地域の小学校へ出掛け、難民の現状と活動への協力を訴えました。

を実感していました。

その後、取り組みを知った小学校からプレゼンの出張依頼を受け、居住地域と本校近隣の小学校へ行くことになりました。初めて出会う大勢の人の前で話すことに不安を抱えていた一人の児童も、「2人一緒ならやれる。」と勇気を出し、活動を広げるために力強く協力を訴えました。2人の訴えは小学校の児童らの心を揺さぶり、わずか1週間で1,000着近くもの服が集まりました。また、取り組みが新聞で紹介されると、多くの地域住民の方が服を届けてくださいました。

「僕たちにできることはある」

最終的に、多くの方からの協力を得たことで、3,000着40箱を難民キャンプに向けて発送しました。トラックを見送る2人の表情からは、社会の一員として責任を果たしたことの充実感や、自ら周囲に働きかけたことで協力を得られた喜びが読み取れました。



全校の児童生徒と職員が集まって服を畳みました。

おわりに

活動の締めくくりには、「これから人とのつながりを大切にして、新しい活動にも挑戦し続けます。」と力強く宣言した2人です。これからも、彼らが多くの人とつながり、地域の中でよりよく生き、学び続けていけるよう、私たちは地域や家庭と力を合わせて支援していきます。



企業の東京本社に招待されて活動報告をし、小学生の部で全国最優秀賞をいただきました。

令和7年度に「しずおかバーチャルスクール」が開校します！

1人1台端末でアクセスできる、仮想空間を活用した学校以外の新たな学びの場！

オンライン交流

オンライン学習

学びと居場所が
つながる・ひろがる
学びの場の提供
**しずおか
バーチャルスクール**

オンライン体験

ポイント1 好きなアバターを選択し、交流できる！

- 参加者は好きなアバターを選んでログインし、スタッフや空間内の仲間とテキストチャットやボイスチャット、モーションでコミュニケーションを行い交流することができます。
- 交流を主としたイベントを用意しています。



ポイント2 オンライン教材による学習ができる！

- 国語、社会、算数・数学、理科、英語に加え、プログラミングなどを自学自習できるオンライン教材のアカウントを配布します。
- 学習計画をスタッフに相談することができ、自分に適したペースで学習を進めることができます。
- スタッフが常駐しており、分からないことをいつでも質問できます。



ポイント3 オンラインで社会とつながる体験ができる！

- 社会とのつながりを大切にした多様な体験プログラムをメタバース空間内に準備し、知的好奇心を喚起します。
- さまざまなプログラムを体験することで、実社会に学びをつなげるきっかけを作ります。



対象者

主に、在籍する小中学校、市町教育支援センターやフリースクール等へ継続的に通っていない、静岡県内の児童・生徒を対象としています。支援体制が整い次第、対象を拡大していく予定です。

今後のスケジュール(予定)

12月	1	2	3	R7.4~
説明会		試行運用		本格運用

不登校支援ポータルサイトHP

不登校支援に関する県の施策を紹介しています。



【義務教育課】

令和6年度

総合教育センター
みずほAngle

静岡県総合教育センター 研究報告会 オンライン開催！

～最新の研究状況を把握するチャンス～

静岡県総合教育センターが取り組んでいる「学校への還元」を目的とした研究の成果を報告します。

理論化された研究成果の中から、実践のヒントが見い出せます。

皆様のご参加をお待ちしております。



■日時

	15:15~16:20
2/12(水)	【小中学校支援課】
2/13(木)	【RPT】 【教育相談課】
2/14(金)	【特別支援課】 【高等学校支援課】

※2/13(木)、2/14(金)は、同時配信



令和6年度の研究テーマ	担当
特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する研究 一子どもの自立と社会参加に向けた1人1台端末の活用一	特別支援課
「主体的に学習に取り組む態度」の育成に焦点をあてた授業改善に関する研究	小中学校支援課
高等学校におけるICT活用指導力向上を目指した校内研修プログラム開発に関する研究	高等学校支援課
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する研究	RPT(令和の学び・プロジェクトチーム)
不登校支援の充実に向けた研究 一学校が関係機関と連携・協働によるシームレスな支援を行うために一	教育相談課

申込方法等の詳細は、二次案内(1月)をご覧ください。
多くの方のご参加をお待ちしています。



こちらもお
すすめ

全国教員研修プラットフォーム(Plant)で
令和5年度の研究報告を視聴できます

- ①ご自分のアカウントでPlantにログインする(アカウントについては、4月に通知済)
- ②研修検索タブで「研究報告」と検索する
- ③「(2422000133313)【令和5年度】静岡県総合教育センター 研究報告(オンデマンド)」を申込する
- ④研修申込タブから受講する
- ⑤アンケートに回答すると、受講履歴に登録される
※受講履歴登録後も、令和7年1月31日まで、何回でも視聴することができます。

【総合教育センター】

閉校になった学区の児童の 安全・安心な居場所

～森町の放課後子供教室の事例紹介～

共働き世帯の増加に伴い、放課後の子供の安全・安心な居場所づくりのニーズは高まっています。一方で統廃合により学校数は年々減少し、閉校になった学区の児童は通学距離が長くなり、放課後の活動に制限が生じている場合が多いです。

このような放課後における課題に対応した事例として、閉校になった学区の児童の安全・安心な居場所となっている森町の三倉・天方放課後子供教室を紹介します。

バス通学経路上にある学校跡地を活用して開設した放課後子供教室

森町では令和3年度に三倉小と天方小が森小に統合され、旧三倉小と旧天方小学区の子供はバスで通学しています。元々三倉小、天方小のそれぞれで放課後子供教室が実施されていましたが、旧天方小がバス路線の分岐点に立地しており、両学区の児童が参加することができることから、新たに旧天方小の校舎で三倉・天方放課後子供教室が開設されました。



通学距離が長くなっても放課後の友達と過ごす有意義な時間は変わらず確保

バス通学が必須である地理的条件から、下校後は気軽に友達と遊べないことが懸念されていました。しかし、放課後子供教室という居場所があることで、統廃合前と変わらず友達と一緒に宿題や工作、スポーツなどをし、月2回有意義な放課後を過ごすことができます。



統廃合による児童の放課後のデメリットをメリットに変えて

放課後子供教室を実施することで、統廃合による放課後のデメリットを最小限に抑えることができました。また、居場所があることで異学年と関わったり、地域の大人とふれあったりする機会ができ、社会性や思いやりの心を育むメリットを生みしました。



令和5年度からは、統合後の森小でも放課後子供教室が新たに開設されました。

(注) 放課後子供教室とは

子供の生活の場である放課後児童クラブに対し、放課後子供教室は全ての児童を対象とした、地域の方々の参画を得た学習やスポーツなどの活動の場です。

【社会教育課】

組合員を対象とした
メンタルヘルス相談窓口

○教育厚生課……………TEL 054(221)3131
○静岡県教職員互助組合相談センター……………月・水・金曜日(午後1時から5時まで) ☎0120(034)054
○公立学校共済組合……………詳しくは右記QRコードをご確認ください ▶▶▶



富士山静岡空港を利用した 教育旅行視察調査の参加者募集

海外への教育旅行の行き先として、トップクラスの人気となっている台湾。安心で安全な環境、親日的な土地柄、日本からのアクセスの良さ、豊富な交流・体験プログラムなど、さまざまな観点において教育旅行先としての高い魅力を持っています。



伝統市場視察風景 - 前回 (H28)



現地高校生との意見交流 - 前回 (H28)

コロナ禍後の台湾の今をじかに体験し、理解を深められる機会です。今年の締めは台湾で!

▼募集案内▼

主 催	富士山静岡空港利用促進協議会
訪 問 先	台湾
視察時期	12月28日午前出発~31日午前帰着(3泊4日) ※富士山静岡空港直行便
募集対象	県内学校(専修学校含む)教職員 ※特に教育旅行担当の方
募集人数	8人程度
募集締切	11月29日(予定)
費用負担	宿泊費、諸経費等 ※航空券、現地視察費は促進協負担

※詳細についてはお気軽にご相談ください

【県空港振興課】

電 話 : 054-221-3355

メール : airport-shinkou@pref.shizuoka.lg.jp

【空港振興課】

戦争体験の語り部のお話を聞いてみませんか!

来年は戦後80年。戦争体験者の高齢化が進む中、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に引き継いでいくため、希望される学校に「語り部活動」を行っている方々を紹介し、戦争を体験した方の思いを直接聞ける貴重な機会です。戦争を題材とした授業や修学旅行の事前学習などに、ぜひご活用ください。



~先生方からもぜひぜひとお申し込みいただいています~

小学校	中学校(教育研究会)	高校
「ちいちゃんのかけおくり」 「一つの花」などの 国語の授業の導入に	社会科教員の研修会に	広島・長崎・沖縄などへの 修学旅行の事前学習に

まずはお気軽にお問い合わせください。

【県地域福祉課】

電 話 : 054-221-3614

メール : chifuku@pref.shizuoka.lg.jp

語り部の
活動地域・活動内容は
こちらから▶



県ホームページにはご遺族の戦争体験を綴った冊子も掲載しています。こちらもぜひ一読ください。

語り継ぐ思い 静岡県

検索



【地域福祉課】

「わたしの“未来のまち”はこんな“まち”」 図画コンクール2024開催中!



明日を担う子どもたちが郷土(静岡)への愛着を持つきっかけとなることを期待して、夢のある“まち”を描く、「わたしの“未来のまち”はこんな“まち”」図画コンクール2024を実施します。テーマは「わたしはこんな“まち”に住みたい。」図工の教材や、「静岡どぼくら講座」(出前講座)の振り返りとして、ぜひご活用ください!



詳しくはHPを
ご覧ください!



主 催	静岡県交通基盤部
テ ー マ	「わたしはこんな“まち”に住みたい。」
部 門	小学生の部・中学生の部
募 集 期 間	令和6年7月16日(火)から10月25日(金)必着<当日消印有効>
作品の規格	A4(21cm×29.7cm)から4つ切り(38cm×54cm)までの大きさの用紙もしくは指定の用紙(募集案内HPに掲載)
応募方法	①作品 ②応募票 ③学校連絡票を下記送付先へ郵送あるいは持込 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県建設政策課 宛
賞	最優秀賞(各部門1点)…“未来のまち”動画★、賞状、副賞 優秀賞(各部門1点)…賞状、副賞 特別賞(数点)…共催団体からの賞状、副賞 参加賞(応募者全員)…記念品(シール) ★作品をモデルに作った動画をプレゼントします
発表・表彰式	入賞作品は12月中旬~下旬頃に公表予定・表彰式も開催予定
お 問 合 せ	電話:054-221-3681 FAX:054-221-3582 メール:kensei@pref.shizuoka.lg.jp

【建設政策課】

「社会教育士」って知っていますか?



社会教育士ロゴ

社会教育士が支える学びの先にある、多様な人々が連携・協働する様子を表しています。

社会教育士とは

「学び」を通じて、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材が、社会教育士です。令和2年度から、社会教育主事講習や大学等における社会教育主事養成課程の学習成果が、さらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

こんな方におすすめです

社会教育主事講習では、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、ファシリテーション能力・プレゼンテーション能力・コーディネート能力を養います。社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。

令和6年度社会教育主事講習[B]

日 程 令和7年1月14日(火)~2月20日(木)

会 場 オンライン及び静岡市産学交流センター B-nest(ビネスト) ほか

受講を希望される場合は、9月末までに、社会教育課企画班までご連絡ください。

出典:文部科学省ホームページ(社会教育士ってなに?)

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/what.html



【社会教育課】TEL 054-221-3161



元気いきいき!

シニアサポーターに参加しませんか?

広告

ボランティア等で ポイントがたまる!

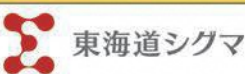
まずは説明会にご参加ください

介護施設での
ボランティア

障害者施設での
清掃や傾聴

指定活動先で地域貢献活動を行うと
ポイントがたまり静岡市の地場産品と交換できます。

サポーター登録説明会随時開催!
日時・開催場所についてはお問合せください。



事業主体:静岡市保健福祉長寿局 健康福祉部 介護保険課
実施主体:(株)東海道シグマ シニアサポーター事務局

TEL 054-252-3944

静岡市元気いきいき!シニアサポーター

静岡市元気いきいき!シニアサポーター

